

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年10月21日(2010.10.21)

【公開番号】特開2009-60951(P2009-60951A)

【公開日】平成21年3月26日(2009.3.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-012

【出願番号】特願2007-228950(P2007-228950)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 3

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月2日(2010.9.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技盤の前面に形成され、発射手段から発射された遊技球が打ち込まれる遊技領域と、該遊技領域に設けられた複数種類の入賞口と、

該複数種類の入賞口のうち始動入賞口に遊技球が入球したことに基づいて遊技者に所定の利益を付与する利益付与状態に制御するか否かを判定する利益付与判定手段と、

前記利益付与判定手段による判定がなされたことに基づいて複数種類の図柄情報を変動表示して所定の表示結果を導出表示する表示手段と、

前記遊技領域に設けられ、遊技球を受け入れ可能な開放状態と遊技球を受け入れ困難な閉塞状態とに変化可能な大入賞口開閉手段と、を備え、

前記利益付与判定手段により前記利益付与状態に制御すると判定されたことに基づいて前記表示手段に特定表示結果を導出表示し、前記大入賞口開閉手段を前記開放状態に変化させて前記利益付与状態に制御する遊技機であって、

遊技者に操作可能に設けられる操作手段と、

前記表示手段を表示制御する表示制御手段と、

前記利益付与判定手段により前記利益付与状態に制御すると判定されたとき、前記利益付与状態の終了後に前記利益付与判定手段によって通常状態よりも高い確率で前記利益付与状態に制御すると判定される高確率状態に制御するか否かを判定する高確率状態判定手段と、

前記表示制御手段によって前記表示手段に表示結果を導出表示するときに前記高確率状態判定手段の判定結果として前記高確率状態に制御しないことを仮通知した後、前記高確率状態制御手段の判定結果を通知する昇格演出を実行するか否か判定する演出判定手段と、

該演出判定手段により前記昇格演出を実行すると判定されたとき、前記特定表示結果を導出表示した後に前記表示手段にて演出態様の異なる複数種類の昇格演出を所定期間に亘って提示する演出提示手段と、

該演出提示手段によって前記複数種類の昇格演出を提示している期間における前記操作手段の操作に応じて前記複数種類の昇格演出のいずれかを選択し、前記期間内に前記操作

手段を操作されなかったときに一の昇格演出を選択する演出選択手段と、を備え、

前記表示制御手段は、

前記高確率状態判定手段により前記高確率状態に制御すると判定され且つ前記演出判定手段により前記昇格演出を実行しないと判定されたときに前記特定表示結果として特別表示結果を導出表示し、前記高確率状態判定手段により前記高確率状態に制御すると判定され且つ前記演出判定手段により前記昇格演出を実行すると判定されたとき、及び前記高確率状態判定手段により前記高確率状態に制御しないと判定されたときに前記特定表示結果として非特別表示結果を導出表示し、

前記演出判定手段により前記昇格演出を実行すると判定されたことに基づいて前記演出選択手段により選択された昇格演出を実行し、前記昇格演出を実行して前記高確率状態判定手段の判定結果として前記高確率状態に制御しない旨を通知したことを条件に前記利益付与状態の終了後に前記演出選択手段により選択された昇格演出の演出態様に対応する演出態様の特別演出を実行することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記利益付与状態の終了後に前記表示制御手段によって前記表示手段にて実行される前記図柄情報の変動表示の実行回数を計数する変動回数計数手段と、

該変動回数計数手段により計数した前記変動回数が予め決められた上限回数に達したか否かを判定する実行回数判定手段と、を備え、

前記表示制御手段は、前記昇格演出を実行して前記高確率状態判定手段の判定結果として前記高確率状態に制御しない旨を通知したことに基づいて前記利益付与状態の終了後に複数回の変動表示に跨って前記特別演出を実行し、前記実行回数判定手段により前記上限回数に達した旨の判定がなされたことに基づいて前記特別演出の実行を終了することを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 3】

前記利益付与状態の終了後に前記実行回数判定手段により前記変動回数が前記上限回数に達した旨の判定がなされるまで前記表示制御手段により前記図柄情報の変動表示を開始してから前記表示結果を導出表示するまでの変動時間を通常よりも短縮させる時短状態に制御する時短状態制御手段を備えることを特徴とする請求項 2 記載の遊技機。